



映画「みんなの学校」上映会

平成28年**3月18日(金)** ① **18:00~** (計4回上映、各回100名)

3月19日(土) ② **10:00~**、③ **14:00~**、④ **18:00~**

会場: **山口市徳地 山村開発センター 1階大集会室 (山口市徳地堀1533)**

文部科学省特別選定

参加費

無料

当日の参加もOK!
ただし、事前の予約をおススメします!

平成27年度 国立山口徳地青少年自然の家 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業
主催: 国立山口徳地青少年自然の家 後援: 山口市・防府市・周南市教育委員会
お問合せ: 国立山口徳地青少年自然の家 (0835-56-0112 担当: 田村 武士)





すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹(尾木ママ) 教育評論家/法政大学教授

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性(大学院生)

平成25年度(第68回)文化庁芸術祭大賞 受賞理由
他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。

(C)関西テレビ放送

皆が一人ひとりの存在を認めあつて作る雰囲気はまさに“みんなの学校”だと思います。

——50代・女性(スクールソーシャルワーカー)

minna-movie.com

国立山口徳地青少年自然の家 <お問合せ&申し込み>

お申し込みの際には、

①お名前、②住所、③連絡先、④人数、⑤参加上映時間、⑥学年・年齢など、お伝えください。(参加者多数の場合は、先着順となります。ご了承ください。)

〒747-0342 山口市徳地船路668

電話：0835-56-0112

メールアドレス：tokuji-kikaku@niye.go.jp

URL：<http://tokuji.niye.go.jp/>

